

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 8 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 30 年 9 月 7 日 (金)

10 時 47 分～11 時 22 分

場 所 第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【事務局】 小川局長 新関係長

議 題

1 9 月定例会の中間報告について

○修正の上報告することとなった。修正案がある委員は 13 日までに提出のこと。

2. その他

○次回開催 10 月 15 日 (月) 10 時 00 分

飛野委員長

第 8 回中山間地域振興特別委員会を開催します。この委員会も 8 回目となり、その間に研修会に参加するなり先進地視察をするなり色々検討してきました。皆さんの協力のおかげをもって、今から議題に入る 9 月定例会中間報告というところまで、何とかこぎつけていただきました。事前に中間報告の原案をお配りしていますので、今日は読み上げはしません。皆さんによって確認とご意見をいただき、中間報告のとりまとめをしたいと考えています。よろしくお願いします。

議題 1. 9 月定例会の中間報告について

飛野委員長

この件について、事務局から何か補足があればお願いします。

小川局長

特に内容についてはありませんが、中間報告は最終日にしたいということで、委員長名で議長に申入れして、議長の了解、決裁も取れていますので、最終日の最後になると思いますが、中間報告を行う形にしています。

本当はもうちょっと詰め込みたいと思ったのですが、あまり長くなってもいけないので、この程度で納めさせていただきました。「これも入れた方が良く、これは要らない。」といった意見を今日は聞かせていただき、手直しをして最終日に議員皆さんにお配りして、委員長から壇上で報告してもらう形になります。ご意見をよろしくお願いします。

飛野委員長

はい。早速ですがこの件について、皆さんから特にご意見等ございましたらお願いします。基本的にはここに、第 1 回目からの委員会の内容を、経過も含めて書いていただいています。大まかに最後にまとめがあります。このようにしていきたいと思っておりますが、皆さんから意見があればお願いします。三浦委員。

三浦委員

2 点あります。一つ目は、中間報告の位置付けというか、公式な所で現状をお話されるとのことなので、どのレベルで中間報告をするのかは確認したいです。最後から 2 番目の段落に「大まかにまとめると」とあり、ここに集約されているのかと思っておりますが、個人的にはもう少し方向性を示す形で、具体的にはまだ言えないですが、もうちょっと議論は上の方にあったのではないかと。これだと議論がスタートした前提部分しか書かれていないような気がしていて、方向性も出ていないような気が、個人的にはします。

例えばですが、地域主体での活動体制、これがいわゆる仕組みだと思っておりますが、その仕組みを作ることに向けてきっかけとなる議論の場だったり活動作りが不可欠だということで、できてない所も現状あるよねということが前段で書かれているので、そういう部分のボトムアップと、今されている所は更に進んでいくようなブラッシュアップの部分と、両方これから具体的なテーマを掲げて議論していく必要があるのではないかと。というところまでは言っても良いのではないかと。個人的な気

持ちはあります。どこくらいまで書けるか分からないですが、方向性としてはそれくらい出ている方が、今まで数回重ねてきた議論の中間報告として成り立つ気がしています。

もう一つ、これは細かい話ですが、3ページ目の④、公民館やコミュニティセンターについて触れられている部分ですが「また地域によっては新たなコミュニティセンターの設置も視野に入れた」という書きぶりが少し引っかかりました。これだと受け取る側としては、新たなコミュニティセンターを作っていく話が出ているような気持ちになります。今までの議論を振り返れば、公民館がコミュニティセンターに変わるべきなのかどうかは、まだ煮詰まっていないので、地域にとって必要な役割を補完するような機能が必要だという話だったと思うので、地域活動を補完するような役割、仕組みをきちんと視野に入れた地域の体制作りが必要ではないか、みたいな。その部分の書きぶりを修正した方が良いのではないかと感じました。あとは今までの議論に沿って書かれているので、特に問題はないかと思います。

飛野委員長

方向性掘り下げの話と、公民館とコミュニティセンターについてでした。一般質問の答弁の中で教育長からも、公民館の方向性について話があったかと思います。あれで一部はつきりしたところが出てきたと私は思っています。今回この取りまとめは中間報告の原案ができていますが、三浦委員が言った掘り下げ部分を、中間報告でやるかもう一つ次の提言の部分でやるかを、協議してやっていけたらと思います。

その他ありませんか。芦谷委員。

芦谷委員

もう少し踏み込んだ方向性等が最後にあれば良いと思います。前を見ると、その書きぶりで過去の議論を思い出したのですが、方向、スタンスが少し上から目線です。例えば前のページの①の4行目「話し合いの場を持つ機会や術を持たず」とか、「地域の集約ができていない」とか、そうではなくむしろ色々問題はあるのだが、それはちゃんと行政が吸い上げる仕組みが足らなかったと見た方が、地域が沈滞しているだけで留まっている感じがします。

二つ目のところでも、「行政からのおしつけが」ということもしてあるし、三つ目で言えば、今まで地域担当制等もずっと言われていて、おまけに本庁に支所連携係等があったりしました。そうすると結局執行部の地域担当制や支所の関係を調整する機能が十分機能していないと見えています。地域担当制拡充が良いのかこれが良いのかと言われても難しいなという感じがしています。

四つ目、はっきりと、市長部局と教育委員会とは公民館のありようを検討していて、ボールが多分行ったり来たりしています。今は教育長の答弁で、どちらかと言えば社会教育に軸足を置いて地域づくりを担う人材育成ということなのですが、私はむしろ公民館に人材をしっかりと補給して、公民館の主な仕事の社会教育や人材育成の仕事もしながら地域づくりをするというようにしてもらった方が良いなと思って。執行部のお

っしやることをそのまま真に受けて、人員をそのまま何もかも公民館に押し付けるのは無理があつて。踏み込んだ委員会での合意をしていただいてした方が良いと思ひました。

最後の、中山間地域でのまちづくり推進委員会云々と書いてありますが、これもどちらかと言えば地域がなされるようなまちづくり委員会の規模にしている、大きな所も小さい所もある。むしろ行政側の怠慢というか不作為の部分というのがまちづくり委員会に色んなパターンがあつたりして、もうちょっと行政主導でまちづくり推進委員会の有り様をきちんと出すということを議会側からプッシュしてあげるのが良いと思ひたりしました。ただ、それはこの委員会でもまだ議論していない部分もあつたりするので、私的だけに留める方法も良いと思ひますが、とにかくそのようなことを感じたところです。

飛野委員長
川上委員

はい。意見として。その他。

私もコミュニティセンターを新設するという方向性を含んだ話はしていないと思うので、それは外した方が良いと思ひます。

それと最後の、まちづくり委員会についても浜田自治区では公民館分館があるからという部分も、それは外して、もう少し小割にしたという形で書いた方が良い気がします。分館を使って、という話は聞いてなかった気がします。

飛野委員長

あと、体制づくりという点は加えても良いかなとは思ひます。

その他。

(「なし」という声あり)

意見が色々出ました。これについていただいたご意見を基にもう少し修正を加えて……。

川上委員

最後のページの「これから行われる井戸端会でも地域の状況をお聞きしながら」と、折角なので地域協議会を加えていただければ、より一層深くなってくるのではないかと思ひます。

岡本委員
柳楽委員

井戸端会と地域協議会の意見を含めるということですね。

私とその部分で引がかつたのは、「これから行われる井戸端会等でも意見を聞いて」ということですが、これまでも井戸端会はありましたし、各議員さんが各地で色んな意見を聞いてこられていると思ひます。この春の報告会で改めて中山間地域の課題についてご意見をいただきたいと、進行で言っていたら「今までもう聞いてきてるだろう」とすごく大きな声で言われました。この表現がそのように捉えられかねない気がして。今からか、みたいな。

布施副委員長

地域井戸端会から出た意見を取りまとめてしっかり議論していきたいと思ひます、くらいの方が。

柳楽委員

今まで皆さんから聞いた、ということの方が。

川上委員

これまでも市民の皆さん側から、とした方が良いのかな。

柳楽委員

ちょっと、どうなのかなと思ひただけ。

布施副委員長

そのための代表だろ、と言われたこともありました。

飛野委員長

確認ですが、全部の井戸端会のチームでそういう場を設けた、テーマを掲げたのですか。

川上委員

言葉を出していただきました。

飛野委員長

徹底したアレはなかったと思います。

柳楽委員

この春の報告会の後にそういう特別委員会を立ち上げているので、そういうことについてもできれば意見を聞いていこうという方向性でやったと思いますが、それまでの、前年度、前々年度からやってきた報告会や井戸端会でも、地域の課題についてこれまで意見は聞いてきていると思うので、改めてここでこの表現をすると少し違和感を覚えました。

飛野委員長

はい。

布施副委員長

「これから行われる」ではなく「これまで行われた」で。

川上委員

これまで市民の方々からいただいた、で良いと思う。

布施副委員長

柳楽委員から提案がありました。今までの地域の課題はしっかり議会報告会や井戸端会でも聞いているので、複数の意見がありましたが、字句の訂正で「これから」という言葉を取って、「井戸端会等での意見をしっかり聞いた上での議論をしていきたいと考えています」か、「取りまとめた議論をしていきます」とか。字句の訂正だけですが大きなインパクトを与えかねないですから、そういう言葉に変えたらどうでしょうか、と思いました。

それとこれは昨日大まかに事務局と確認したのですが、だいたい今まで話し合えたことは網羅しているつもりですが、中間報告ですので先ほど芦谷委員が言われたことについては、最終的には提言としての部分が結構入っていました。最終的には執行部のプロジェクトチームと議会の方針が同じになったら意味がありませんので、議会は議会としての提言ができるように取りまとめた方が良いのではないかという思いがあります。芦谷委員が言われたように、公民館の在り方、ボトムアップすることもしっかり提言していきたいと思っています。

提言としては最初に三浦委員が言われた、この部分をこうすべきではないかということは確かに必要だとは思いますが。

柳楽委員の言われた井戸端会議の件もそのとおりだと思います。

飛野委員長

副委員長が言われたように、まだ一部漏れている項目もあるかと思います。それに組みながら取りまとめを再度してみたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

川上委員

この後の進め方としては、とりあえず検討・修正を加える。

折角なので、直されたらこちらに連絡いただき、お返事をいただく形にしてもらった方がよろしいかと思いますが。最終的に中山間地域特別委員会の中に入れていただくと。

飛野委員長

今の川上委員から提案がありました。事務局としてはそれで問題ありませんか。

(「大丈夫です」という声あり)

では川上委員が提案されたようにタブレットに配信し、それによって最終案があればそれも入力して、その中で最終まとめを……どうでしょうか。

小川局長

今言われた意見、ごもっともな点多々あるのでその辺は直したいと思いますが、もし皆さんの中で「こう直した方が良い」という文面的な物があれば、できれば週明け、僕も直そうとは思いますが、もし週明けくらいまでに具体的な修正文があれば送ってもらえば、それを参考にしながら直したいと思いますが、いかがでしょうか。

川上委員

折角事務局がそうおっしゃっているので、原稿を共有していただければすぐ入れられるので。

芦谷委員

紙ベースに朱を入れてあげて、出してあげるのが一番早いですよ。

小川局長

では今日の資料をとりあえず、原案として中山間地特別委員会のフォルダに入れます。PDFで入ります。それで訂正箇所を出していただければ、私が大変助かります。

飛野委員長

皆さん今のお話をご理解いただけましたでしょうか。

(「はい」という声あり)

そのタイミングとしては一応月曜くらい。

小川局長

28日まで時間があるので、水曜日くらいにしましょうか。

飛野委員長

水曜を目途に修正原稿の提出をお願いします。

小川局長

水曜なら予算決算委員会があつたりするので皆さん集まれるので、その時にペーパーで貰っても良いですし。

飛野委員長

取扱いについては、それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそのように取り計らってまいります。

小川局長

すみません、13日(木)で良いです。それなら全員来られるはずなので。あとの日は委員会なので皆さん来られない可能性があるのです。

飛野委員長

では訂正します。13日(木)目途でお願いします。

布施副委員長

文章ができた後のスケジュールは、皆で再度集まって討議するタイミングを決めないと。

飛野委員長

提出いただいた意見をまとめて、どういう形で最終の取りまとめをするかをお諮りしたいと思います。ご意見は。

岡本委員

時間がないようですし、正副委員長に一任で。

飛野委員長

今の意見についてはどうでしょうか。

(「良いと思います」という声あり)

では、岡本委員から提案いただいたように、正副委員長に一任していただいて、修正されたものを……これは事前に結果として配布しますか。

小川局長

最終日に議場配布します。委員は事前に配ります。

飛野委員長

委員には事前に配り、全議員には当日配布という形で進めたいと思いますが、ご了解いただけますか。

(「はい」という声あり)

では以上です。

議題2. その他

飛野委員長

川神議長

その他何かありますか。議長。

委員長の許可をいただいて皆さんに一言、お願いもお礼も言っておかないといけないと思いますが、中山間地域振興特別委員会では皆さんに何度も議論を重ねていただき、中山間地域もしくは浜田市全体の課題についてどう議会が関わるかを提案するために、議論していただいていることを大変感謝しています。私も当初はこの問題を特に重要なものとして、今から自治区制度見直しも含め地域の安全安心がどのように担保されるのか、そのためには特に中山間地域部分の安全安心が担保されないと、なかなか今後の一体感あるまちづくりに向かわないだろうということで、皆さんに厳しい課題を考えてもらうことにしました。今回中間報告を見させていただきましたが、今まで議論、更には視察を含めて正副委員長を中心に一生懸命やっただいて、課題もある程度見えてきています。ただ、なかなかこの問題は、当初言ったようにいつまでにこのものを出せと言っているものではなく、まずこのことを議会が主体となって考えることが大切だと思って、皆さん方をお願いしました。そういった意味で、焦ることはなく、ただ時間的な物もあるので一定の方向を見つけていかないといけないと思いますが、ひとつお願いしたいのは、執行部にプロジェクトチームがありますが、それを単に補完するとか、同じ目線で物を見ていく必要は全くないということ、改めて皆さん方をお願いしたいと思っています。執行部と同じ目線でないならどういう目線で見るとかということですが、最近見ていると、どうしても執行部というのは上から網をかけるように地域を見ていて、何か物があると陰ができるのでそこには色んな意見が届かない、物が見えない、しかし我々議員は地元を中心に地域活動を行っています。まさしく上からではなく下から物を見ている立場にいますので、地域の空気感や現状をよく分かっていると思います。その辺の強みを活かして、本当に中山間地域に暮らす方々が安心安全で、災害が起こっても安心な生活を、我々の発想や視点で提言していただければ幸いです。大上段に構える必要もないですし、こういうことなら議員が一生懸命やるに値するようなことではないかという意見を出していただければ、それが立派な提言になると思っています。負担を感じることなく。我々もどんどん高齢化していく中でずっと地域に住むためには、こうあって欲しい。そういう地元の生の声を活かした提言ができればと思っていますので、引き続きよろしくお願ひします。

飛野委員長

議長の熱い想いを聞かせていただきました。できるだけ議長の意に添うように引き続きやっていきたいと思っています。今後もよろしくお願ひします。

冒頭に参考資料をお配りしています。これは議長からいただいたものですが、特にこれが今回のとりまとめに強く関連するというわけではあ

りません。皆さんで参考にしていただけたらということでコピーしてお配りしました。お目通しをお願いします。

では次回開催日の擦り合わせを行いたいと思います。一応、こちらでタイミング等を勘案して、考えている数字を先に申し上げますが、第9回目は10月15、16、18、29、30、31日の6日を候補としたいと思います。

(以下、自由討議)

飛野委員長

では次回開催は10月15日(月)の10時からということで、よろしくをお願いします。

事務局から何かあれば。

小川局長

次回からは中間報告をして、一応論点を抽出してきたので、今度はこれを詰めていきたいと思います。意見を持って臨んでいただければと思います。よろしくをお願いします。

飛野委員長

以上で第8回の中山間地域振興特別委員会を終わります。

(閉 議 11 時 22 分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛 野 弘 二 ⑩